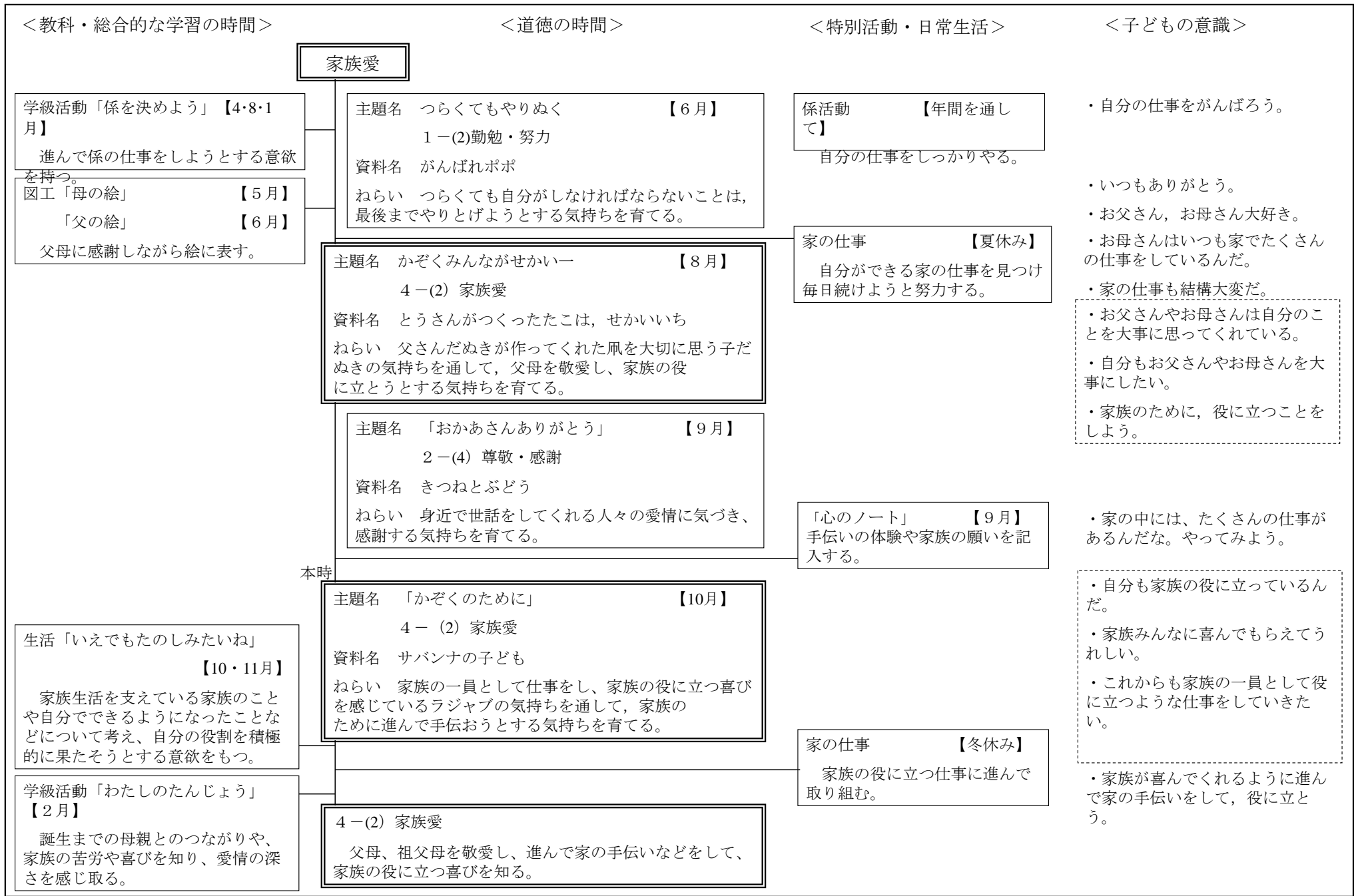




4 全教育活動における本時の位置付け



5 本時の指導

(1) ねらい 家族の一員として仕事をし、家族の役に立つ喜びを感じているラジャブの気持ちを通して、家族のために進んで手伝おうとする気持ちを育てる。

(2) 展開

段階	学習活動と主な発問	予想される児童の発言や心の動き	指導上の留意点や支援
気づく  10分	<p>1 家庭でどんな仕事をしているか発表し合う。家でどんな手伝いや仕事をしていますか。どんな気持ちでやっていますか。</p> <p>2 資料を読み、学習のねらいを持つ。この話を聞いた感想を発表しましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ごはんを作る手伝いをしています。楽しいです。</li> <li>・玄関掃除をしています。めんどくさいけどやっています。</li> <li>・毎日、仕事をしていてりっぱだ。</li> <li>・学校に行く前や学校から帰ってきて仕事をしなければならないのは大変だ。</li> <li>・水汲みの仕事は、大変そうだ。</li> <li>・みんなでチャイを飲みながら話をしていて楽しそうだ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭で行っている仕事を想起させ、価値への方向づけをする。</li> <li>・地図や、写真などを提示して、サバンの生活の様子を知らせ、現実の話であることをとらえさせてから資料を読ませる。</li> <li>・ラジャブについての感想をもとに、学習課題をたてる。</li> </ul>
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">                     毎日水くみをしているラジャブの気持ちを考えよう。                 </div>		
深める  20分	<p>3 「ラジャブ」の気持ちを中心に話し合う。学校から帰るとすぐ水汲みにいくラジャブは、どんな気持ちなのでしょう。</p> <p>水汲みを一度も嫌だと言ったことのないラジャブは、いつもどんなことを思いながら水汲みをしているのでしょうか。</p> <p>ラジャブが汲んできた水で入れたチャイを飲みながら家族と話をしているラジャブは、どんなことを思っているのでしょうか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お姉さんも水汲みをしているから、ぼくもやらなきゃ。</li> <li>・嫌な気持ちもあるが、やらなきゃいけない。</li> <li>・毎日の仕事だから仕方がない。</li> <li>・重くて大変だ。</li> <li>・水汲みは、自分の仕事だ。</li> <li>・家族のために頑張らなきゃ。</li> <li>・自分がやらないと家族に迷惑をかけてしまう。</li> <li>・水汲みをすれば家族が助かる。</li> <li>・家族が喜んでくれる。</li> <li>・おいしい。</li> <li>・ぼくの汲んできた水で、チャイが飲めてうれしい。</li> <li>・家族と仲良く暮らせて幸せだ。</li> <li>・家族みんなに喜んでもらえてうれしい。</li> <li>・頑張って水汲みをしてきてよかった。</li> <li>・ぼくの汲んできた水が役に立っていてうれしい。</li> <li>・家族が喜んでくれるので、またがんばろう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・共同井戸の様子や水の入ったバケツを持つ擬似体験をさせることで水汲みの大変さを実感させる。</li> <li>・家の仕事の体験活動から、面倒になったり、いやだけどやらなければならないことなどを想起させ、ラジャブにも同じような気持ちがあることとらえさせたい。</li> <li>・水がとても貴重であり、水を汲んでくることで家族が助かることをおさえ、大変な仕事をしているラジャブの家族への思いをとらえさせたい。</li> <li>・家族の一員として役に立っている喜びや満足感、チャイを飲みながら家族みんなで話し合うことのできる喜びをとらえさせ、家族の役に立つためにがんばろうという意欲につながることに気づかせたい。</li> </ul>

<p>見つめる</p> <p>5分</p>	<p>4 今までの自分を振り返る。今までに 家族の役に立てた、家族に喜んでもらえたということはどんなことですか。また、その時どんな気持ちでしたか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・洗濯物をたたんだら、お母さんにありがとうって言われてうれしかった。</li> <li>・お母さんが具合悪かったとき、夕飯づくりをした。助かったって言ってくれた。</li> <li>・玄関掃除をしたら、きれいで気持ちいいねと喜んでくれた。やってよかった。また、やろうと思った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・心のノートに記入したことや、夏休みや生活科でやった家庭での仕事を思い出させる。</li> <li>・家族の役に立った経験があることを紹介させ、自分も家族の役に立っていることに気づかせたり、喜びを感じ取らせたりしたい。</li> </ul>
<p>まとめる</p> <p>10分</p>	<p>5 まとめをする。おうちの方からのお手紙を読みましよう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お手伝いしてよかった。</li> <li>・こんなに喜んでくれている。</li> <li>・これからももっと手伝いをしよう。</li> <li>・毎日手伝いを続けよう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・おうちの方には、今までの手伝いで助かったことやうれしかったこと、家族の一員としてこんな人になってほしいという願いなどを手紙にしまろう。</li> <li>・家族の役に立つ喜びを感じさせ、家の手伝いの意欲づけを図る。</li> </ul>

6 板書計画

サバンの子ども

毎日水くみをしているラジャブの気持ちを  
考えよう。

サバンナ

- ・ さばく
- ・ 水が少ない。
- ・ ひしゃく二はいで  
ぜんぶあらう。

写真

学校からかえるとすぐ水くみ

写真

- ・ やらなくちゃ。
- ・ 毎日のしごとだ。
- ・ たいへん。
- ・ おもい。

水くみをいやだといったことは一どもない

写真

- ・ じぶんのしごと。
  - ・ がんばるぞ。
  - ・ やらないとめいわくが。
  - ・ かぞくがたすかる。
- よろこぶ。

ラジャブのくんできた水でチャイを入れてくれる

- ・ おいしい。
- ・ うれしい。
- ・ よろこんでくれた。
- ・ やくに立った。
- ・ また、がんばろう。

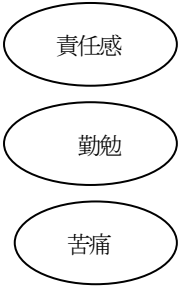
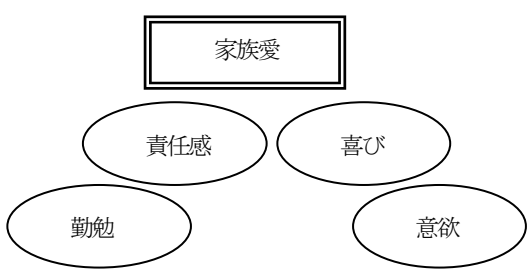
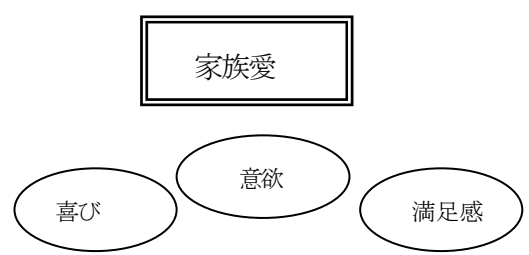
かぞくのために

写真

## 7 資料分析

(1) ねらい 家族の一員として仕事をし、家族の役に立つ喜びを感じているラジャブの気持ちを通して、家族のために進んで手伝おうとする気持ちを育てる。

(2) 資料名 サバンナの子ども (出典 学研)

主な場面	学校から帰るとすぐに水汲みに行く場面	ラジャブが水汲みを嫌だと言ったことが一度もない場面	夕食後に、チャイを飲みながら家族と話し合う場面
把握すべき状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ラジャブの朝の仕事は、牛を外に出して、草原に連れて行くこと。</li> <li>・村に一つしか共同井戸がなく、朝から晩までたくさんの人が順番まち。</li> <li>・水はとても大切。ひしゃく二はだけで頭のとっぺんから足の先まであらう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家の人たちが喜んでくれる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ラジャブのくんできた水で、お母さんがチャイを入れてくれる。</li> <li>・チャイを飲みながら、家族と話し合う。</li> </ul>
主人公の心の動き	 <p>責任感 勤勉 苦痛</p> <p>・ラジャブは学校から帰ると、すぐ水を汲みにいく。</p>	 <p>家族愛 責任感 喜び 勤勉 意欲</p> <p>・水くみを嫌だと言ったことは、一度もありません。</p>	 <p>家族愛 喜び 意欲 満足感</p> <p>・チャイを飲みながら、家族と話し合うときが大好き。</p>
児童の反応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ぼくの仕事だからやらなきゃいけない。</li> <li>・お姉さんも水汲みをしているから、ぼくもやらなきゃ。</li> <li>・嫌な気持ちもあるが、やらなきゃいけない。</li> <li>・毎日の仕事だから仕方がない。</li> <li>・重くて大変だ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水汲みをすると、家族が喜んでくれる。</li> <li>・ぼくが水汲みをすれば、家族が助かる。</li> <li>・自分がやらないと家族に迷惑をかけてしまう。</li> <li>・家族のために頑張らなきゃ。</li> <li>・水汲みは、自分の仕事だ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家族が喜んでくれるので、またがんばろう。</li> <li>・ぼくの汲んできた水が役に立っている。</li> <li>・頑張って水汲みをしてきてよかった</li> <li>・家族みんなに喜んでもらえてうれしい。</li> <li>・家族と仲良く暮らせて幸せ。</li> <li>・ぼくの汲んできた水でチャイが飲めてうれしい。</li> <li>・おいしい。</li> </ul>
基本発問	○学校から帰るとすぐ水汲みにいくラジャブは、どんな気持ちなのでしょう。	○水汲みを一度も嫌だと言ったことのないラジャブは、いつもどんなことを思ながら水汲みをしているのでしょうか。	◎ラジャブの汲んできた水で入れたチャイを飲みながら家族と話をしているラジャブは、どんなことを思っているのでしょうか。